



【地元企業の技術者等による「匠の技継承講座」Ⅱ（2回目）】

《目的》

熟練技能者による実技指導を通して、社会で働く方々の技能の高さを実感するとともに、仕事に取り組む姿勢等を学ぶほか、溶接に関する基本的な技能を身に付ける。

《実施内容》

被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の実技指導

《講師》

明比 良太 氏 今治造船株式会社
久保田武志 氏 株式会社新来島どつく

《取組》

- 日 時 平成29年 9月28日(木) 1～4限
- 場 所 今治工業高等学校 溶接実習室
- 対 象 機械造船科2年生 1班 7名
- 内 容 ・アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の作業要領等の説明及び講師実演
・溶接の実技指導



《講師の先生の助言》

- ・アークの長さを一定に保つこと。アークが先行しないよう注意すること。
- ・上手くなる秘訣は上手な人の真似をすること、運棒速度等を見るときは、その人の後ろから見るとよい。
- ・溶接は奥が深いので、すぐに上達するのは難しく、まだまだできていないことが多くある。しかし、経験を積んでいくと上手くなれる。

《生徒の感想・学んだこと》

- ・溶接棒の角度や運棒速度に加えて、電流や電圧の調整についても細かく教えてもらったので、上手く溶接をすることができました。
- ・匠の技を見ることにより、どのように工夫すると上手く溶接できるのか、少し理解することができました。
- ・細かい内容を具体的に分かりやすく教えていただき、多くのことを学ぶことができました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

- ・どのようにすれば溶接が上手くできるのか、身を乗り出して講師の動きを見て学んでいた。はじめは真似をすることが大切であるということ、生徒は少し理解できたのではないかと思う。

